

Media English の教材収集法

小野田 榮



1 教材としての Media English

躍動感のある Media English の魅力に惹かれ、是非授業で利用したいと思う方も多いことと思う。しかし、教材探しの段になると自分の求めているようなものが容易に手に入らず、あきらめてしまう人、またはたまたま魅力ある記事やニュースが手に入ったときにだけ、利用するという人も少なくないようである。この教材探しがメディア英語を扱う際の問題点なのである。メディア英語は、「生もの」であるがゆえに、すばやく見つけすぐに調理して出さなければ、鮮度が落ちてしまい、価値がなくなってしまうものだからである。しかし、日頃何かと忙しい教師の場合、ゆっくりと教材探しをしている時間などとれないものである。そのような人のために、私の実践を交えながら、簡単な方法をいくつかご紹介したいと思う。

2 市販教材の活用

まず、いちばん簡単なのは、「生もの」としての価値をある程度犠牲にし、市販の教材を買ってしまうことである。この方法のメリットは、世の中で話題となったニュースや記事、あるいは生徒が興味を抱く内容のものが精選されている点である。また、初級者用から上級者用のテキストまで出版されているので、自分の学生の英語力に合わせてテキストを選べばよい。ただし大切なことは、記事やニュースのヘッドラインだけを見てテキストを選ぶのではなく、ざっと流し読みや聞き流しをしてみてから選ぶことである。ヘッドライ

ンは魅力的だが、内容はつまらないということが少なくないからである。さらには、市販のテキストには、語句の解説、エクササイズおよび教授用資料がついているので、自ら情報を調べる手間も省ける。そして最も魅力的なことは、テレビニュースを扱った教材には、ニュースを収録した CD がついており、生徒は自宅でリスニングの学習をしてから授業に臨むことができるため、授業の時間を他の活動に使うことができるという点である。ご参考までに市販のテキストが扱っているものを挙げておこう。

(A)新聞記事・雑誌の場合：The Japan Times, The Daily Yomiuri, The New York Times, The Washington Post, Newsweek, TIME, The Economist, The Herald International Tribune など。

(B)テレビニュースの場合：ABC World News, BBC World, CNN News, CBS News World, など。(出版社：金星堂、成美堂など)

また、これ以外にあまりお金をかけずに教材を手に入れる方法としてお勧めなのが、NHK のテレビやラジオの英会話講座 CD とそのテキストである。特にリスニングを中心にした、「英語リスニング入門」や以前放送していた「3ヶ月英会話ニュースで学ぶ」などは、ニュース原稿、練習問題、語句の解説、背景となる情報も掲載されているので、利用しやすく教材として利用できる形にする手間もかからない。

3 オリジナル教材の作成

次に、実際の新聞記事やテレビニュースを教材

化する方法である。新聞の場合は、高校生対象であれば、駅の Kiosk で売っている日本の英字新聞が手軽であろう。中には、英語教育欄を設けているものもあり、そこには英検準 2 級程度の英語力があれば読めるような短い記事が掲載されている。難しい語句の解説や、和訳までついているものもある。また、中級の読者対象に、パラグラフ構成のしっかりとした読みやすい特集記事を載せてあるものもある。内容も深く多くの観点から問題を掘り下げて論じているため、読み物教材、ディスカッションの題材としてお勧めしたい。

さて、それでは、実際の新聞やテレビニュースから教材を選ぶ際にはどのようにしたらよいのだろうか。新聞を読むのが好きな人であれば定期購読するのがよいが、よほど辛抱強い人でない限りなかなか読み続けられない。学生時代、学生割引につられ、*TIME* や *Newsweek* の定期購読をした経験のある人ならお分かりいただけるだろう。いくつか方法をご紹介します。

(1) 日頃から日本の新聞やニュースを見ていて、興味深い出来事が起こったときなどに英字新聞を買ったり衛星放送のニュースを録画する方法。もちろん、実際に英語の新聞やニュースを見てみると、大した扱いにはなっておらず、使えないということもあるが、良い教材を見つけられることもある。私の場合、この方法で、2 回に 1 回程度の確率でよい題材を見つけている。英字新聞は英語科あるいは図書館の予算で定期購読させてもらい、衛星放送は学校の予算で入れてもらうとよい。

(2) 衛星放送のニュースを毎日タイマー録画し、週に一度早送りでチェックし、興味深いものを選ぶ方法。この方法はテープ代など無駄が多いようだが、1 週間も録画すれば 1 つか 2 つくらいは興味深いものを見つかることができる。

(3) 英語科の仲間の記事やニュースを探し、皆で分かち合う方法。Two heads are better than one. である。この方法を使うとかなりよいもの

が見つかるし作業量も少なくて済む。また話し合うことで指導法を向上させる恩恵もある。

(4) 新聞記事を探す場合、生徒に探させて授業で読みたいものを持参させる方法である。これは生徒の考えや興味を生かすことができるだけでなく、こちらの作業量の軽減にもつながる。またグループごとに、テーマを与えて探させると良いものが見つかる可能性が高い。その際、下記に述べるように、新聞やニュースの websites を教えて探させると良い。この方法は生徒にとって rapid reading の練習にもなる。

このようにいくつかの方法があるが、英字新聞を常にかうのも無駄が多い。そこでお勧めなのが、新聞記事やテレビのニュースの websites にアクセスし、そこから、分野、トピックや時には出版・放送日時などから絞り込んでいく方法である。次のようなものがある。(URL は大修館書店ホームページ <http://www.taishukan.co.jp/gcdroom> に載せた)

○新聞: *Newspapers Online* (アメリカの主な新聞にアクセスすることができる) / *USA TODAY* / *The International Herald Tribune* / *Newsweek* / *The New York Times* / *TIME* / *The Japan Times* / *The Ashahi Shinbun* / *The Yomiuri Shinbun*

○テレビニュース: *BBC News* / *CNN News* / *ABC News* / *CBS News*

特に、下記の *CNN News* の website にアクセスすれば、放送されたニュースの原稿を手に入れることができるため、授業で利用しやすい。

CNN News: <http://cnm.com/TRANSCRIPTS>

(おのだ さかえ・神田外語大学助教授)

●大修館版〈異文化理解〉教材のご案内
カラーワイド英語百科

(B5判・税込定価900円)

文化情報から最新の知識まで。英語が楽しくなる副教材。
